

浄土の みほとけ



薬師如来立像

鎌倉時代

令和2年 11月7日[土] — 11月29日[日]

受付 — 8:30 ~ 16:30 (16:00 受付終了) 会場 — 国宝 金堂 特別参拝料 — 500円 (入山料が別途必要)

西国第14番札所 三井寺

住 所：滋賀県大津市園城寺町246
TEL：077-522-2238

三井寺 1200

検索

[入山料] 大人600円 / 中高生300円 / 小学生200円 (30名以上の団体割引有り) [入山時間] 8:00 ~ 17:00 (16:30 受付終了)

<http://miidera1200.jp>

その紅葉のトンネルは、

仏の世界につながっている。

秋も深まるころ、色鮮やかに染め上げられた長等山の錦秋を望み、境内に一步入ると、そこは別世界。堂塔へと続く参道は、紅葉のトンネルとなり、紅葉した木々が人々を静かに包み込みます。

「浄土」とは仏や菩薩がお住まいになる理想的な世界のこと。阿弥陀如来の極楽浄土がよく知られていますが、仏菩薩によってそれぞれの浄土があり、古来より人々は、煩惱に汚れた現世に対し、災害や疫病もない清浄な理想郷である浄土への憧憬と願いを託してきました。

このたび三井寺では、いま世界を席卷している新型コロナウイルス感染症の終息を願い、金堂のご本尊・秘仏弥勒仏を中心に浄土のみほとけを遷座し、疫病退散を願ってご法縁を結んでいただきます。

会期 11月7日(土)－11月29日(日)

会場 国宝 金堂

疫病終息祈願



阿弥陀如来坐像(鎌倉時代)



阿弥陀如来立像(鎌倉時代)

浄土のみほとけ